

アンケート調査のまとめ

2017年4月4日

青木まりえ氏、阿部和芳氏からは、回答がありませんでした。

質問項目	立候補予定者名			
	青木 まりえ 氏	阿部 和芳 氏	亀山 紘 氏	黒須 光男 氏
1、原子力発電所について				
① 原発は将来にわたって必要。				
② 2030年代までに段階的に減らす。			○	○
③ 原発は直ちに廃炉にすべき。				
④ その他（ご意見をお聞かせください。）				
亀山 紘 氏	太陽光発電、風力発電、バイオマス発電など「脱原発」に向けた再生エネルギーの活用及び循環型社会の実現に積極的に取り組んでいます。			
黒須 光男 氏	福島原発事故で国民が感じているのではないか。			
2、女川原発の再稼働について				
① 国（原子力規制委員会）や県の意向に沿って進める。				
② 福島原発事故の原因が究明されない限り認めない。				
③ 再稼働には反対。				○
④ その他（ご意見をお聞かせください。）			○	
亀山 紘 氏	女川原発再稼働については、安全性の問題や広域避難計画の実効性の問題などを含め慎重に検討してまいります。			
黒須 光男 氏	安全性に不安を感じている。			
3、再稼働の動きが出たときの住民合意の方法は				
① 行政と議会で結論を出す。			○	○
② 住民説明会などの開催とパブリックコメントの募集で判断。				○
③ 再稼働を問う住民投票の実施で判断。				
④ その他（ご意見をお聞かせください。）				
亀山 紘 氏				
黒須 光男 氏	① と②など時間をかけ慎重に結論を出す。			
4、原子力防災計画について				
① 石巻市で策定した避難計画は実効性がある。				
② 現状ではやむをえない計画だ。			○	
③ 石巻市で策定された避難計画は実効性がない。				○
④ その他（ご意見をお聞かせください。）				
亀山 紘 氏	広域避難計画の実効性の向上については、国、県、関係機関で構成している女川地域原子力防災協議会作業部会において、避難搬送用車両の確保等、様々な課題を検討しております。			

黒須 光男 氏	14万人の避難は、受け入れ先を含めて不可能に近い。国が原発を進めているので、国と県が避難計画を策定すべきである。市では実行できない。				
※ 実効性がないと回答した方にお聞きします。					
①	実効性がなくとも女川原発の再稼働は行うべきだ。				
②	実効性がない計画では女川原発の再稼働はありえない。				○
③	その他（ご意見をお聞かせください。）			○	
亀山 紘 氏	計画策定以降もその実効性を高めていくために関係機関と協力、連携し様々なケースを想定した原子力防災訓練等に取り組んでまいります。				
黒須 光男 氏					
5、放射性廃棄物の問題について					
①	放射性廃棄物を早期に処理するためには一斉焼却が必要。				○
②	漉き込みによる堆肥化の実証試験の経過を見て判断すべき。			○	
③	放射性廃棄物の一斉焼却には反対。				
④	その他（ご意見をお聞かせください。）				
亀山 紘 氏					
黒須 光男 氏	バグフィルターの除去率を高めることが重要である。				
※ 市町村会議へのスタンスについて					
①	宮城県の方針に賛成の立場で臨む。				
②	あくまでも焼却反対の立場で臨む。				
③	他市長の意見も聞いて判断する。			○	○
④	その他（ご意見をお聞かせください。）				
亀山 紘 氏					
黒須 光男 氏					

※ 立候補予定者は、五十音順に記載しました。

※ コメント欄の空欄は、コメントなしです。

止めようプルサーマル・止めよう核燃料サイクル
女川原発地元連絡会